

“主体的な取り組み”が育つ C・S

12月7日の「地域防災訓練」に向けて始動

7月9日、「地域の防災について話す会」が実施されました。自治会長・区長さんたちと東中2年生の地区代表が一緒になって12月の地域防災訓練の実施計画について話し合いました。



「私たちはこういうことができます・こういうふうにやりたいです」という東中生の積極的な提案に、役員さん達が少し驚きながらも笑顔でうなづく姿が見られました。参観された県教育委員会の方々からも『中学生の主体的な取り組み姿勢が素晴らしい』と賞賛されました。5年目の取り組みが着実に定着してきました。

生徒会主体で取り組んだ『海岸清掃』

7月13日、浜当目の海岸清掃に東中生40人がボランティアとして参加しました。自治会長さんからも「中学生の力は頼りになります」と、感謝の言葉を頂きました。



地元の皆様に加えて、事業団体などたくさんの参加者の中で、東中生の働きぶりは生き生きと輝いて見えました。生徒会を中心にした主体的な取り組みが“本気”につながったのでしょう。

本気の『米作り』学習に、力強い応援

中学１年生が総合的な学習で「米作り」をテーマに一人一人の興味関心に沿った探究学習を進行しています。夏休み当初の７月２４日、米作り専業農家の岡村さん（方ノ上美農里代表）に各自の追究課題に沿った疑問を直接質問できる機会が設定されました。



岡村さんは、とても多忙な中で時間をさいてくれて一人一人の質問に分かりやすくていねいに説明をしてくださいました。さすが、専業農家さんの言葉には深みと説得力がありました。

生徒たちも、回答に対してお礼の気持ちを込めた感想や考えの深まりを発言していました。学びの深まりが伝わってきました。

生徒の本気の学習に対して地域の大人が本気で対応してくれる姿に、“C・S活動”ならではの温かさと力強さを実感しました。

２つの夏祭り：「東中生の店番さん」活躍

地域の楽しい風物詩のお祭りに、東中生が「店番さん」として活躍しています。中学生の元気な姿が祭りを盛り上げていました。



日時 ７月１２日（土） 夕方
主催 「津島さん」 浜当目燦々会
内容 輪投げ・釣り堀ゲームの案内

７月２６日（日） 夕方
「中里納涼会」 中里５町内会
スーパーボール・かき氷の接待

各団体からの参加要請を「地域貢献活動」として生徒に公募し、活動当日にはPTA 地域貢献部による見守りも行われています。